

卒業・修了アルバム用絵表紙制作の注意点

株式会社 光陽モネカ

絵表紙はお書きいただいた表紙原稿に表面加工（加熱）し、アルバムの表紙として使用します。このため平面性の保持が必要であり、また汚れを嫌います。

そこで制作方法にいくつかご注意いただく点がございます。原稿制作に先立ってしたの 5 項目をご確認ください。

1. 用紙

必ず弊社からお渡しした用紙をご使用ください。

もし書き損じがあった場合は弊社にご連絡ください。新しい用紙を差し上げます。

2. 筆具

マーカー（水性・油性）・クレヨン・色鉛筆が最適です。

クレパスや水性絵具は製本結果に悪影響を与えますのでご使用を避けてください。

水性絵具は乾いたあと、縮んで用紙の平面性がそこなわれ、厚く塗った場合製本までの保管中にひび割れたり、剥落するおそれがあります。また、クレパスは熱加工時にとけて広がったり、表面加工剤の接着を弱めるおそれがあります。

また、修正液の使用も上と同じ理由から避けてください。

3. 描画範囲

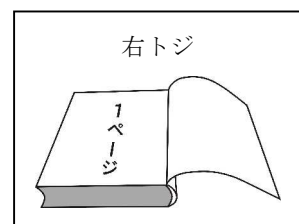
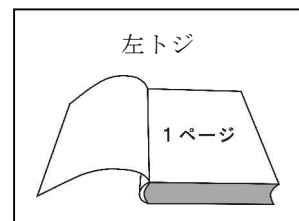
用紙の中に太枠が印刷されております。最終的な本の厚さにより多少異なりますが、この枠から左右 10 mm 程度、天地 5 mm 程度内側に描画ください。この範囲の外側は折り返されて表紙の裏側に入り見えなくなるおそれがあります。

4. 使用面

本体の綴じ方により用紙の表裏いずれかの面を使います。

用紙の上部に「左トジ用絵表紙」「右トジ用絵表紙」と印刷されています。貴校の製本方法に合わせていずれかの面をご使用ください。

ちなみに左トジは第 1 ページを開くとき表紙を左に開けるもの、右トジはその反対です。（右図）



5. 用紙への別紙貼りこみ

用紙への別紙の貼りこみは絶対におやめください。